

◆人口構造の少子高齢化

●1. 人口構造の高齢化

a. 「高齢化社会 (society)」

①人口の3区分 = 「 」 + 「 」 + 老年人口

②老年人口比率 (65歳以上人口比率) = 老年人口 / 全人口 × 100

→ 1956 国連の「高齢化社会」定義 = 老年人口比率が [] %

b. 老年人口比率のさらなる伸び… 「 (society)」 - 目途 %

倍加年数 他の試み: % → %

c. 日本の高齢化社会の特徴

① / ②

cf. 近隣国の動向予想?

2050年 60歳以上20億人の人口のうち、16億人が での生活

●2. 人口構造高齢化の要因と関連状況

①寿命の伸び…医学の進展と豊かで健康な生活

*平均寿命	1921	1947	1960	1980	2000	2055
男性						
女性						

ウィルモス「課題と挑戦」仮説…困難に挑戦し克服してきた人間の寿命の長期化

②乳児死亡率の低下→出生率の減少

人口変動のパターン = 「人口転換 (demographic transition)」

1) [多産・多死型] → 2) [多産・少死型] → 3) [少産・小死型]

2) “ ” → 家族計画の普及や意識改革支援

⇨ 「リプロダクティブ・ヘルス&ライツ」 - 産む産まないは個人のなすべきこと

「 」 = 女性が当該年次の年齢別出生率に従って生涯にわたり子を産んだら

人口置き換え水準 =

1920	1947	1966	1974	1989	2000	2005
------	------	------	------	------	------	------

人口予測: 1.26が続けば…2050年 = 人 → 2100年 = 人 → 2200年 = 人

→ 3000年 = 人 → 3200年 = 人

人口の多い社会 or 少ない社会の better さ = 生産力維持論 vs 人口バランス論

cf. 先進国共通の少子化傾向but 社会政策の差異 / 途上国の高齢化爆発寸前
超低出生力地域…出産の先送り現象 [結婚や第1子/第2子・第3子]

子育ての機会費用の高騰/経済の低成長

文化=直系家族制・男子長子相続制・権威主義的家族観

家庭内での役割分業の固定化、福祉や子育ての私化・公的サービスの遅れ

→出生率の減少要因の2分解： a / b

◇背景としての家族の変容…直系家族制から夫婦家族制へ発想転換の進行

a. 核家族化（祖父母と同居しなくなる）…夫婦とその子からなる家族
高齢化による核家族の加速？ / 核家族化の停滞…

b. 小家族化（きょうだいがいない）←労働力移動の活発化と居住環境の狭小化

● 3. 高齢化社会の内実…居住現象の潜在的機能

老年人口比率の分布差

a. 地域差

都市圏中核部から住宅を求めての郊外への移動

東京圏・大阪圏の拡大

b. 昼夜時間差

世代・職業